

| | |
|--|-----------------------------|
| コース名：予備教育コース（日韓） | |
| 科目名： 英語 | 対象者：日韓共同理工系学部留学生 第2次第7期生 |
| 担当者名： 金銀珠およびTA | 開講時間： 木曜 5・6限 |
| <p>◎ 授業の目的・達成目標</p> <p>目的：本学で学ぶために必要な英語力を身につける。</p> <p>達成目標：(1) TOEIC 600 点以上取得を目指す (2) 英語力向上。</p> | |
| <p>◎ 授業計画（第1～15週 計15回）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 センター試験（英語）過去問題（Proficiency Test） 2 第1章 TOEIC 攻略のストラテジー 3 第2章 セクション別攻略（リスニング編）1日目 4 第2章 セクション別攻略（リスニング編）2日目 5 第2章 セクション別攻略（リスニング編）3日目 6 第2章 セクション別攻略（リスニング編）4日目 7 センター試験（英語）過去問題（Midterm Exam） 8 第3章 セクション別攻略（リーディング編）5日目 9 第3章 セクション別攻略（リーディング編）6日目 10 第3章 セクション別攻略（リーディング編）7日目 11 過去問題 12 過去問題 13 過去問題 14 過去問題 15 センター試験（英語）過去問題（Final Exam） | |
| 成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により、総合的に判断し、評価する。 | |
| ◎ 教科書 はじめての新TOEICテスト いきなり600点が取れる本 高橋書店 | 参考書 授業の進度に応じ、適宜指示する。 |
| <p>◎ その他注意すべき事項： TA の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文を読解し、英語で討論する技術を涵養する。 ・出席状況を記録し、報告する。 ・試験実施後は、採点結果を記録し、報告する。 | |

| | |
|---|-----------------------------|
| コース名：予備教育コース（日韓） | |
| 科目名： 化学 | 対象者：日韓共同理工系学部留学生 第2次第7期生 |
| 担当者名： 岩津文夫およびTA | 開講時間： 金曜 3・4限 |
| <p>◎ 授業の目的・達成目標</p> <p>目的：本学で学ぶために必要な化学力を身につける。</p> <p>達成目標：(1) センター試験（化学）過去問題で正答率70%以上。(2) 日本語による化学力向上。</p> | |
| <p>◎ 授業計画（第1～15週 計15回）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2015年度分 化学I筆記本試験を実施（Proficiency Test）と解説 2 2014年度分 化学I筆記本試験を実施と解説 3 2014年度分 化学I筆記追試験を実施と解説 4 2013年度分 化学I筆記本試験を実施と解説 5 2013年度分 化学I筆記追試験を実施と解説 6 2012年度分 化学I筆記本試験を実施と解説 7 2012年度分 化学I筆記追試験を実施と解説 8 2011年度分 化学I筆記本試験を実施と解説 9 2011年度分 化学I筆記追試験を実施と解説 10 2010年度分 化学I筆記本試験を実施と解説 11 2010年度分 化学I筆記追試験を実施と解説 12 2009年度分 化学I筆記本試験を実施と解説 13 2009年度分 化学I筆記追試験を実施と解説 14 2008年度分 化学I筆記本試験を実施と解説 15 2008年度分 化学I筆記追試験を実施（Achievement Test）と解説 | |
| 成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により、総合的に判断し、評価する。 | |
| 『2017 大学入試センター試験 過去問レビュー 化学基礎・化学』（河合出版2016） ※「問題編」以外は初回授業時に回収し、最終授業時に返却する。 | 参考書 授業の進度に応じ、適宜指示する。 |
| <p>◎ その他注意すべき事項： TA の業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解答用紙の準備，試験監督，採点，返却，解説を担当する。 ・ 試験実施後は，採点結果を記録し，報告する。 ・ 出席状況を記録し，報告する。 | |

| | |
|---|-------------------|
| コース名：予備教育コース（上級・日韓） | |
| 科目名：工学日本語2 （プレゼンテーション1） | 対象者： |
| 担当者名：森本 俊之 | 開講時間：月曜 1・2限 |
| <p>◎ 授業の目的・達成目標</p> <p>日本の文化に関する文章を読み、それに基づいたディスカッションとプレゼンテーションをおこなうことで、「読む・書く・話す・聞く」という総合的な日本語能力を養います。</p> | |
| <p>◎ 授業計画（第1～15週 計15回）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス、「1. 食文化」ディスカッション・問題演習 2 「2. 仕事」ディスカッション・問題演習 3 「3. 生活習慣と宗教」ディスカッション・問題演習 4 「4. リサイクル」ディスカッション・問題演習 5 「5. ジェンダー」ディスカッション・問題演習 6 発表テーマの選び方 7 資料収集と情報整理の方法 8 中間テスト 9 アウトラインの作り方 10 伝わる話し方 11 中間報告をおこなう・発表の全体像を構成する 12 発表資料を作成する（1） 13 発表資料を作成する（2） 14 期末テスト 15 授業のまとめ | |
| 成績評価：出席と授業への参加態度、およびテスト成績により総合的に評価します。 | |
| ◎ 教科書： 安藤節子ほか（編著）『改訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 上級』（スリーエーネットワーク、2010） | ◎参考書： 適宜指示します。 |
| ◎ その他注意すべき事項： 特になし | |

| | |
|---|-------------------|
| コース名：予備教育コース（上級・日韓） | |
| 科目名：工学日本語3 （プレゼンテーション2） | 対象者： |
| 担当者名：森本 俊之 | 開講時間：月曜 3・4限 |
| <p>◎ 授業の目的・達成目標</p> <p>日本の文化に関する文章を読み、それに基づいたディスカッションとプレゼンテーションをおこなうことで、「読む・書く・話す・聞く」という総合的な日本語能力を養います。</p> | |
| <p>◎ 授業計画（第1～15週 計15回）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ガイダンス、「1. 食文化」ディスカッション・問題演習 2 「2. 仕事」ディスカッション・問題演習 3 「3. 生活習慣と宗教」ディスカッション・問題演習 4 「4. リサイクル」ディスカッション・問題演習 5 「5. ジェンダー」ディスカッション・問題演習 6 発表テーマの選び方 7 資料収集と情報整理の方法 8 中間テスト 9 アウトラインの作り方 10 伝わる話し方 11 中間報告をおこなう・発表の全体像を構成する 12 発表資料を作成する（1） 13 発表資料を作成する（2） 14 期末テスト 15 授業のまとめ | |
| 成績評価：出席と授業への参加態度、およびテスト成績により総合的に評価します。 | |
| ◎ 教科書 安藤節子ほか（編著）『改訂版 トピックによる日本語総合演習 テーマ探しから発表へ 上級』（スリーエーネットワーク、2010） | ◎参考書： 適宜指示します。 |
| ◎ その他注意すべき事項： 特になし | |

| | |
|--|------------------|
| コース名：予備教育コース | |
| クラス名：学部入学前予備教育 (日韓) 科目名：工学日本語 4 | 対象者：日韓共同理工系学部留学生 |
| 担当者名：李 芝賢 | 開講時間：水 1・2 限 |
| 授業目標：語彙を増やし、読解ストラテジー身につけることで、読解力の向上を目指す。 | |
| <p>授業計画 (第 1～15 週・計 15 回)</p> <p>第 1 回：語のまとまりをとらえる</p> <p>第 2 回：「する/される」の関係をつかむ</p> <p>第 3 回：文の構造をとらえる</p> <p>第 4 回：前件と後件の関係をつかむ</p> <p>第 5 回：「これ」「それ」が指すもの</p> <p>第 6 回：省略されているものは何かを知る</p> <p>第 7 回：関係のある言葉を探す</p> <p>第 8 回：中間テスト</p> <p>第 9 回：文末表現に注目して筆者の意見を見抜く</p> <p>第 10 回：大事なことを伝えるサインをつかむ</p> <p>第 11 回：目印を使って内容を整理する</p> <p>第 12 回：内容をすばやく理解する</p> <p>第 13 回：文章の話題を見抜く</p> <p>第 14 回：期末テスト</p> <p>第 15 回：期末テスト解説</p> | |
| 成績評価：出席，授業参加度，宿題，期末テストにより総合的に判断。 | |
| 教科書：なし(プリント使用) | |
| その他注意すべき事項：遅刻しないようにしましょう。授業中辞書以外の用途で携帯を使わないこと。 | |

| | |
|---|-----------------------------|
| コース名：予備教育 | |
| クラス名：学部入学前予備教育 （日韓） 科目名：工学日本語4（作文） | 対象者：日韓共同理工系学部留学生 第2次第7期生 |
| 担当者名：眞野道子 | 開講時間：火 3/4 限 |
| ◎ 授業の目的・達成目標 日本語力がある程度身につけても、文章を書くことは苦手とする人が多い。しかし、日本の大学で勉強する以上、アカデミックレベルの文章を書く技術は必須である。この授業では、留学生活に必要な書く能力を身につけるために、さまざまな場面に応じた文章の書き方の練習を行う。初めは短い文から、徐々に長い文章が書けるように練習を積み上げ、最終的には論理的なレポートが書けることを目標とする。 | |
| ◎ 授業計画（第1～15週 計15回） 第1回：自己紹介・オリエンテーション 第2～5回：短文から段落作成まで <ul style="list-style-type: none"> ・簡潔に回答する ・情報を文章にする ・状況を説明し、意見を述べる ・段落を作る 第6～8回：いろいろな文章を書く <ul style="list-style-type: none"> ・体験したことを報告する文章を書く ・テーマに沿った意見文を書く ・自分をアピールする文を書く 第9～14回：レポートを書く <ul style="list-style-type: none"> ・レポートを書くための基礎知識 ・順序だてて、レポートを書く ・引用して、レポートを書く ・資料を利用して、レポートを書く 第15回：修了テスト ＊状況によっては変更することもある。 | |
| 成績評価：出席および授業への参加態度、課題、テスト等により、総合的に判断する。 | |
| ◎ 教科書 プリント配布 | 参考書 授業の進度に応じ、適宜指示する。 |
| ◎ その他注意すべき事項 特になし。 | |

| | |
|--|-----------------------------|
| コース名：予備教育コース（日韓） | |
| 科目名： 数学 | 対象者：日韓共同理工系学部留学生 第2次第7期生 |
| 担当者名： 岩津文夫およびTA | 開講時間： 水曜 3・4限 |
| <p>◎ 授業の目的・達成目標</p> <p>目的：本学で学ぶために必要な数学力を身につける。</p> <p>達成目標：(1) センター試験（数学）過去問題で正答率70%以上。(2) 日本語による数学力向上。</p> | |
| <p>◎ 授業計画（第1～15週 計15回）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2015年度分 数学Ⅰ・A筆記本試験を実施（Proficiency Test）と解説 2 2015年度分 数学Ⅱ・B筆記本試験を実施（Proficiency Test）と解説 3 2014年度分 数学Ⅰ・A筆記本試験実施と解説 4 2014年度分 数学Ⅱ・B筆記本試験実施と解説 5 2013年度分 数学Ⅰ・A筆記追試験実施と解説 6 2013年度分 数学Ⅱ・B筆記追試験実施と解説 7 2012年度分 数学Ⅰ・A筆記本試験実施と解説 8 2012年度分 数学Ⅱ・B筆記本試験実施と解説 9 2011年度分 数学Ⅰ・A筆記追試験実施と解説 10 2011年度分 数学Ⅱ・B筆記追試験実施と解説 11 2010年度分 数学Ⅰ・A筆記本試験実施と解説 12 2010年度分 数学Ⅱ・B筆記本試験実施と解説 13 2009年度分 数学Ⅰ・A筆記本試験実施と解説 14 2009年度分 数学Ⅰ・A筆記追試験実施(Achievement Test)と解説 15 2008年度分 数学Ⅱ・B筆記追試験実施(Achievement Test)と解説 | |
| 成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により、総合的に判断し、評価する。 | |
| 『2017 大学入試センター試験 過去問レビュー 数学Ⅰ・A, Ⅱ・B』（河合出版2016） ※「問題編」以外は初回授業時に回収し、最終授業時に返却する。 | 参考書 授業の進度に応じ、適宜指示する。 |
| <p>◎ その他注意すべき事項： TAの業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解答用紙の準備，試験監督，採点，返却，解説を担当する。 ・ 試験実施後は，採点結果を記録し，報告する。 ・ 出席状況を記録し，報告する。 | |

| | |
|--|-----------------------------|
| コース名：予備教育コース（日韓） | |
| 科目名： 物理 | 対象者：日韓共同理工系学部留学生 第2次第7期生 |
| 担当者名： 岩津文夫およびTA | 開講時間： 木曜 3・4限 |
| <p>◎ 授業の目的・達成目標</p> <p>目的：本学で学ぶために必要な物理力を身につける。</p> <p>達成目標：(1) センター試験（物理）過去問題で正答率70%以上。(2) 日本語による物理力向上。</p> | |
| <p>◎ 授業計画（第1～15週 計15回）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 2015年度分 物理I筆記追試験を実施と解説（Proficiency Test）と解説 2 2015年度分 物理I筆記本試験を実施と解説 3 2014年度分 物理I筆記追試験を実施と解説 4 2014年度分 物理I筆記本試験を実施と解説 5 2013年度分 物理I筆記追試験を実施と解説 6 2013年度分 物理I筆記本試験を実施と解説 7 2012年度分 物理I筆記追試験を実施と解説 8 2012年度分 物理I筆記本試験を実施と解説 9 2011年度分 物理I筆記追試験を実施と解説 10 2011年度分 物理I筆記本試験を実施と解説 11 2010年度分 物理I筆記追試験を実施と解説 12 2010年度分 物理I筆記本試験を実施と解説 13 2009年度分 物理I筆記追試験を実施と解説 14 2009年度分 物理I筆記本試験を実施と解説 15 2008年度分 物理I筆記追試験を実施（Achievement Test）と解説 | |
| 成績評価：出席および授業への参加態度、テスト成績により、総合的に判断し、評価する。 | |
| 『2017 大学入試センター試験過去問レビュー 物理基礎・物理』（河合出版 2016） ※「問題編」以外は初回授業時に回収し、最終授業時に返却する。 | 参考書 授業の進度に応じ、適宜指示する。 |
| <p>◎ その他注意すべき事項： TAの業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 解答用紙の準備，試験監督，採点，返却，解説を担当する。 ・ 試験実施後は，採点結果を記録し，報告する。 ・ 出席状況を記録し，報告する。 | |